

『品川区昼間区民世論調査』 報告書

〈概要版〉

－従業員アンケート調査編－

2008年8月

品川区 企画部

目 次

序. 調査の概要.....	1
1. 回答者の構成.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 居住地域.....	2
(4) 現在の居住地での定住意向.....	2
(5) 勤務地.....	3
(6) 通勤に利用している交通手段.....	3
(7) 職場の最寄り駅.....	3
(8) 職業.....	3
(9) 勤務先事業所の従業員数.....	4
(10) 勤務先事業所の業種.....	4
2. 品川区との関わりについて.....	5
(1) 就業場所.....	5
(2) 品川区に関する情報入手手段.....	6
(3) この1年間で利用したことのある品川区の施設.....	7
(4) 区政への参加意向.....	8
(5) 区政への参加方法.....	9
(6) 意見・要望の伝達手段.....	10
3. 品川区との連携・協力への関心や参加意向について.....	11
(1) 職場の地域貢献への取り組み姿勢.....	11
(2) 品川区内での地域活動.....	12
(3) 品川区で取り組みたい活動.....	13
(4) 参加する際の制約.....	14
4. 防災への取り組みについて.....	15
(1) 日ごろ心がけている防災活動.....	15
(2) 広域災害時の対応.....	16
5. 居住場所としての品川区の印象について.....	17
(1) 品川区での居住意向.....	17
(2) 品川区に住みたい理由.....	18
(3) 品川区に住みたくない理由.....	19

序. 調査の概要

(1) 調査の目的

品川区では、区を取り巻く社会経済環境の変化等を踏まえ、平成20年4月、新基本構想を策定した。この構想では、区民と区、さらに品川区で働く人など「昼間区民」も加え、協働による「私たちのまち」品川区をつくることとした。

そこで、「昼間区民世論調査」を実施し、昼間区民の協働への意識等を把握し、長期基本計画の策定に活用する。

(2) 調査の対象

- ・品川区に所在地を有する事業所（約3,000事業所を抽出）に勤務する従業員のうち主に区外居住者約15,000人

(3) 調査方法

- ・事業所に郵送配布し、事業所を通じ一括郵送回収する方式のアンケート調査（事業所に対し、はがきによる督促あり）

(4) 調査項目

- ・品川区との関わりについて
- ・品川区との連携・協力への関心と参加意向について
- ・防災への取り組みについて
- ・居住場所としての品川区の印象について

(5) 配布・回収結果

	1～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答	合計
在勤者数	53,258	32,825	49,784	36,674	64,931	83,613	-	321,085
配布事業所数	680	650	650	500	400	125	-	3,005
1事業所配布数	1	4	4	5	10	20	-	-
配布数	680	2,600	2,600	2,500	4,000	2,500	-	14,880
配布割合	1.28%	7.92%	5.22%	6.82%	6.16%	2.99%	-	4.63%
回収数	388	553	773	601	792	864	108	4,079
回収率	57.06%	21.27%	29.73%	24.04%	19.80%	34.56%	-	27.41%

1. 回答者の構成

(1) 性別

性別構成は男性が 58.1%、女性が 41.5%であり、男性が女性に比べ多い。

	全体	男性	女性	無回答
実数	4,079	2,368	1,692	19
構成比(%)	100.0	58.1	41.5	0.5

(2) 年齢

年齢は 30 歳代が最も多い。

	全体	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上	無回答
実数	4,079	8	686	1,184	892	849	346	79	35
構成比(%)	100.0	0.2	16.8	29.0	21.9	20.8	8.5	1.9	0.9

(3) 居住地

居住地は、調査実施段階でなるべく品川区以外の人を対象にするよう依頼したが、「品川区」が 15.1%含まれている。

	全体	品川区	大田区	目黒区	世田谷区	23 3の 区他	2 3 の 東京 都 区 外	川崎市	横浜市	神奈川県 その他	埼玉県	千葉県	その他 地域	無回答
実数	4,079	617	445	107	160	686	240	271	530	219	335	336	56	77
構成比(%)	100.0	15.1	10.9	2.6	3.9	16.8	5.9	6.6	13.0	5.4	8.2	8.2	1.4	1.9

(4) 現在の居住地での定住意向

現在の居住地について、「ずっと住みたい」が 37.0%、「当分は住みたい」が 42.0%であり、定住意向を持つ人が合計 79.0%を占める。

	全体	ずっと 住みたい	当分は 住みたい	あまり住み たくない	すぐにでも 転出したい	わからない	無回答
実数	4,079	1,511	1,713	216	74	499	66
構成比(%)	100.0	37.0	42.0	5.3	1.8	12.2	1.6

(5) 勤務地

品川地区と大崎地区が多く、八潮地区が少ない構成となっている。

	全体	品川	大崎	八潮	大井	荏原	無回答
実数	4,079	1,316	1,324	126	731	472	110
構成比(%)	100.0	32.3	32.5	3.1	17.9	11.6	2.7

(6) 通勤に利用している交通手段

一番多いのは「JR」で57.5%、二番目が「私鉄」で36.7%、三番目以降は比率が小さい。

	全体	JR	私鉄	地下鉄	バス	自転車	自家用車	徒歩	その他	無回答
実数	4,079	2,345	1,497	425	366	213	103	234	81	34
構成比(%)	100.0	57.5	36.7	10.4	9.0	5.2	2.5	5.7	2.0	0.8

(7) 職場の最寄り駅

鉄道の最寄り駅は「五反田駅」、「大井町駅」、「大崎駅」の順となっている。

	全体	大井町駅	目黒駅	五反田駅	大崎駅	西大井駅	旗の台駅	武蔵小山駅	天王洲アイル駅	中延駅	青物横丁駅	その他	無回答
実数	3,350	480	173	769	442	54	80	70	195	40	141	798	160
構成比(%)	100.0	14.3	5.2	23.0	13.2	1.6	2.4	2.1	5.8	1.2	4.2	23.8	4.8

(8) 職業

職業は「会社員・団体職員」が8割を占める。

	全体	会社員・ 団体職員	商工 自営業	会社役員・ 団体役員	公務員	パート・ アルバイト	その他	無回答
実数	4,079	3,261	88	175	2	314	159	80
構成比(%)	100.0	79.9	2.2	4.3	0.0	7.7	3.9	2.0

(9) 勤務先事業所の従業員数

勤務先の従業員数は「1～9人」から「300人以上」まで幅広い構成となっている。

	全体	1～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答
実数	4,079	388	553	773	601	792	864	108
構成比(%)	100.0	9.5	13.6	19.0	14.7	19.4	21.2	2.6

(10) 勤務先事業所の業種

勤務先事業所の業種は、「製造業」、「サービス業」、「卸売・小売業」などが多い。

	全体	建設業	製造業	水道業	電気・ガス・情報・通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	宿泊業・飲食店・宿	医療・福祉	小・中学校	高校・大学	学習支援	その他教育	サービス業	その他	無回答
実数	4,079	329	741	69	361	255	514	78	53	128	259	7	94	39	737	322	93	
構成比(%)	100.0	8.1	18.2	1.7	8.9	6.3	12.6	1.9	1.3	3.1	6.3	0.2	2.3	1.0	18.1	7.9	2.3	

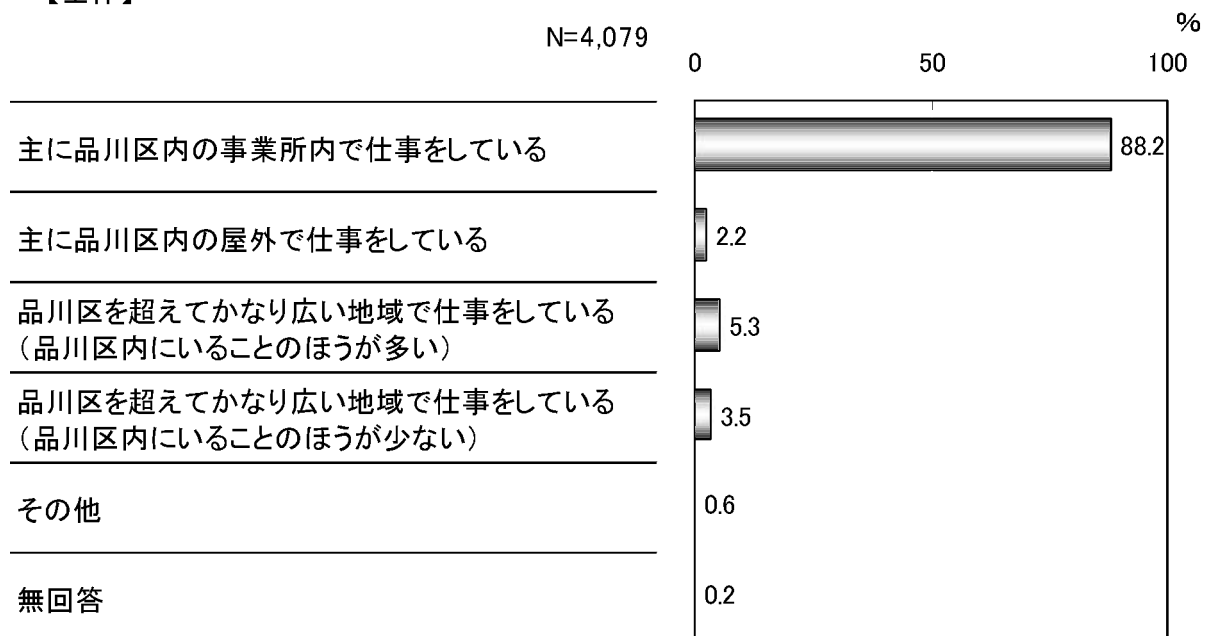
2. 品川区との関わりについて

(1) 就業場所

就業場所は、「主に品川区内の事業所内で仕事をしている」が9割近くを占めている。

問1. 就業場所

【全体】

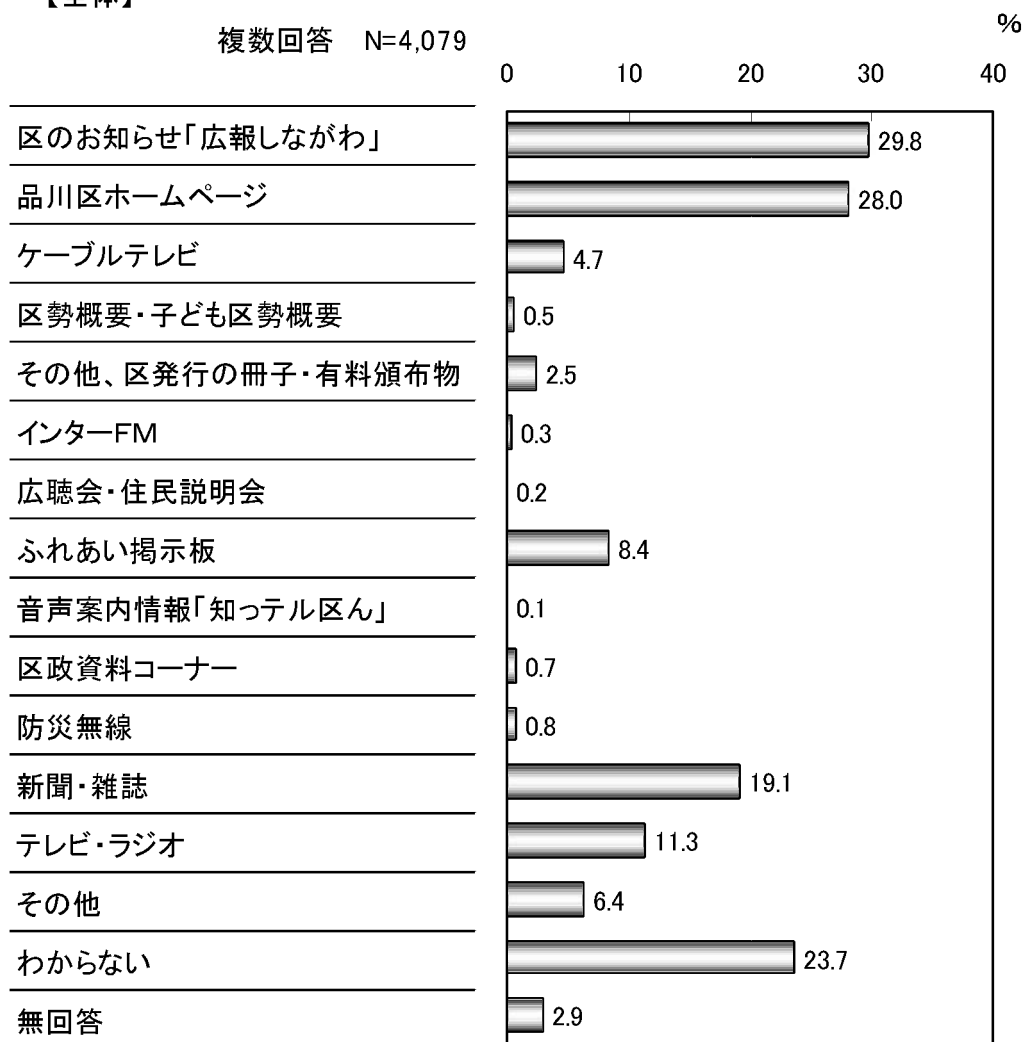


(2) 品川区に関する情報入手手段

品川区に関する情報入手手段は、「区のお知らせ『広報しながわ』」が最も多く、次いで「品川区ホームページ」、「新聞・雑誌」、「テレビ・ラジオ」、「ふれあい掲示板」の順となっている。

問2. 品川区に関する情報入手手段

【全体】



クロス集計結果から

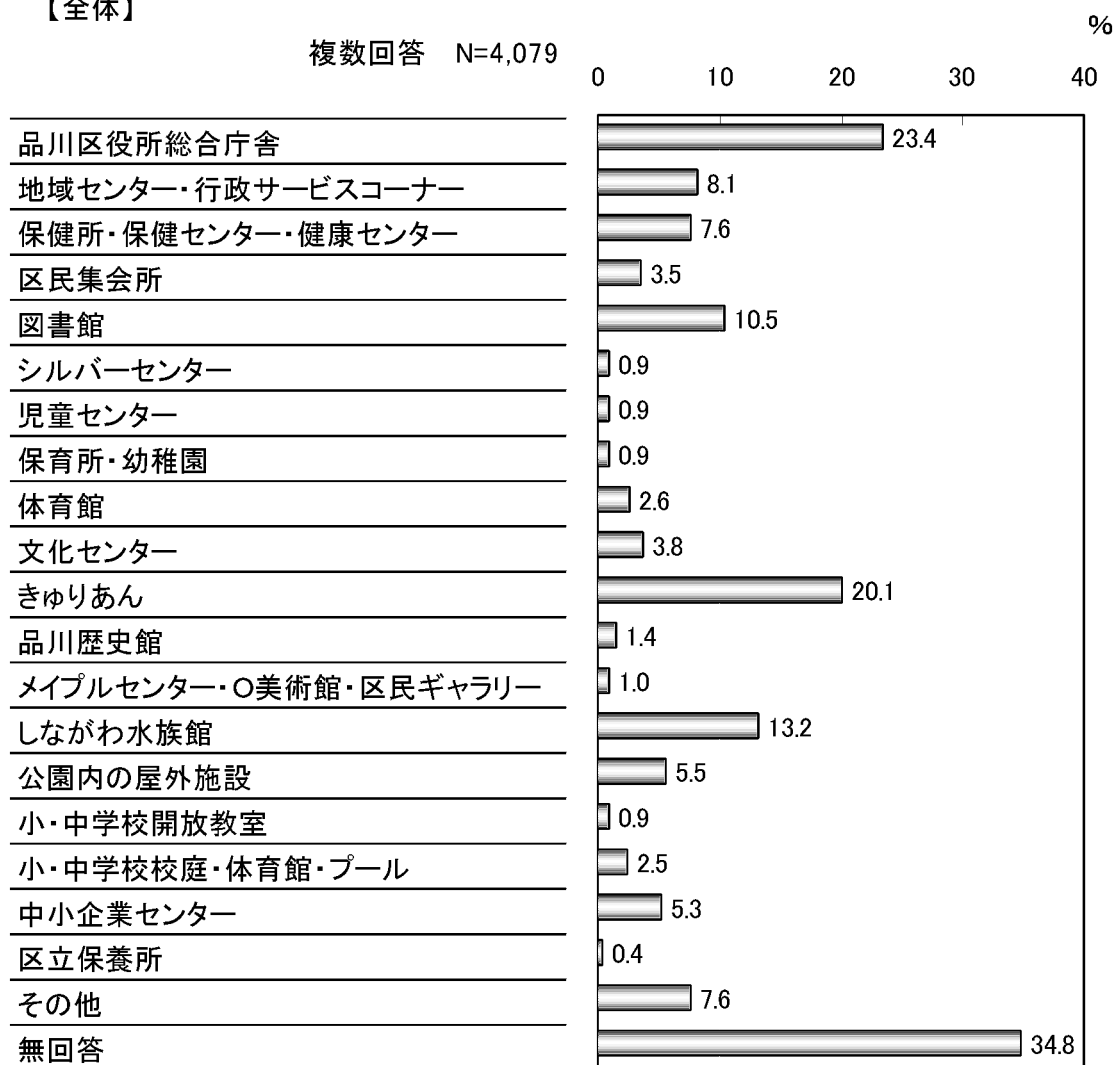
- 「区のお知らせ『広報しながわ』」は、年齢層が高くなるほど多くなる傾向が顕著で、60歳以上では55.5%に達している。「品川区ホームページ」は30代、40代で3割を上回っている。「ふれあい掲示板」は年齢層が高くなるにつれ多くなる傾向がある。また29歳以下や30代など若い年齢層の場合、「わからない」とする回答が多い。

(3) この1年間で利用したことのある品川区の施設

この1年間で利用したことのある品川区の施設は、「品川区役所総合庁舎」が最も多く23.4%、次いで「きゅりあん」(20.1%)、「しながわ水族館」(13.2%)、「図書館」(10.5%)の順となっている。

問3. この1年間で利用したことのある品川区の施設

【全体】



注：無回答の大半は、利用したことのある施設がないものと思われる。

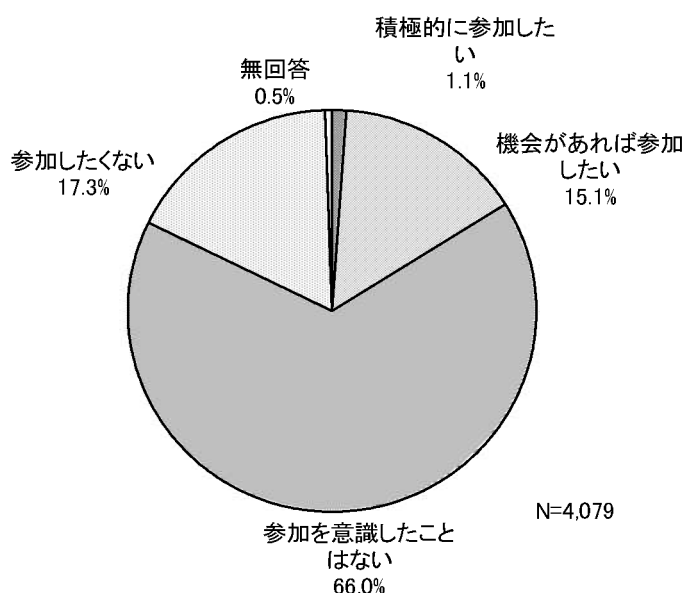
【住民世論調査（住民対象）との比較】

「品川区役所総合庁舎」は住民の48.6%に対し従業員の23.4%、「図書館」は住民の40.2%に対し従業員の10.5%、「地域センター・行政サービスコーナー」は住民の30.5%に対し従業員の8.1%、「保健所・保健センター・健康センター」は住民の24.2%に対し従業員の7.6%となっている。「きゅりあん」、「しながわ水族館」については格差が比較的小さい。

(4) 区政への参加意向

区政への参加意向については、「積極的に参加したい」が1.1%、「機会があれば参加したい」が15.1%であり、参加に前向きな意向を示す人は合計2割に満たない。一方「参加を意識したことがない」が66.0%、「参加したくない」が17.3%であり、無関心層が多数を占める。

問4. 区政への参加意向



クロス集計結果から

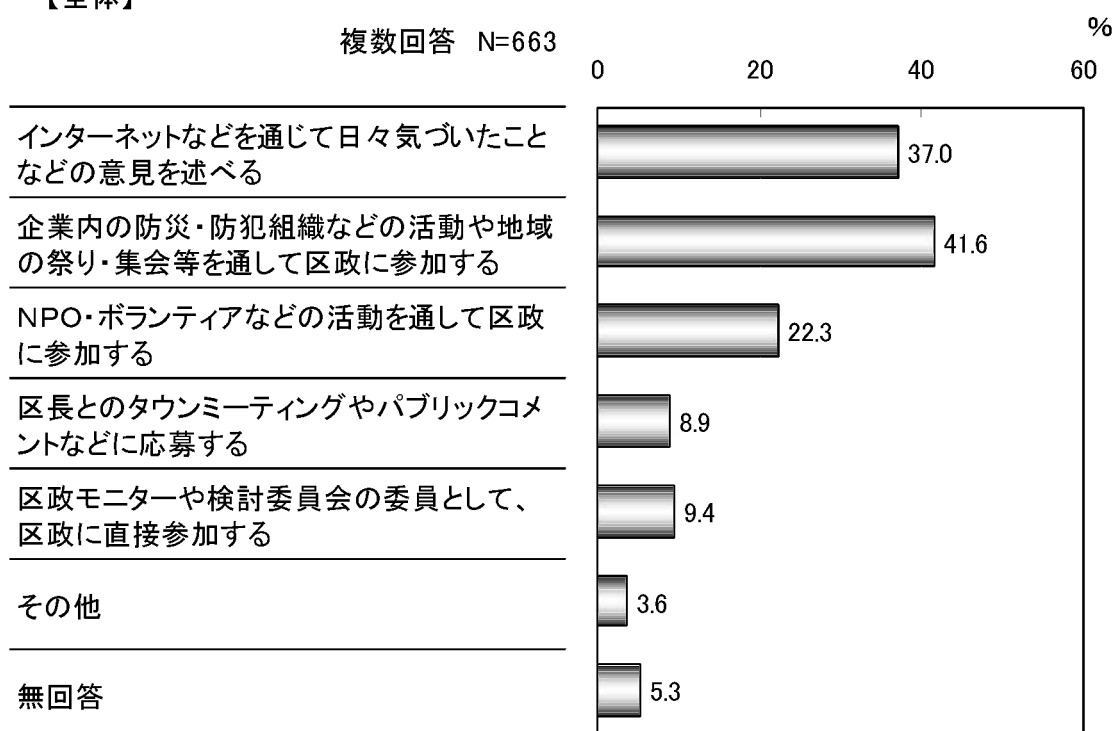
- ・ 「積極的に参加したい」はどの年齢層でも1%前後にとどまり、「機会があれば参加してみたい」は年齢層が高くなるにつれ若干増加するが、それでも最大の60歳以上でも2割にとどまる。
- ・ 1～9人の事業所の場合「機会があれば参加したい」が他の規模に比べ多い。

(5) 区政への参加方法

区政への参加方法として、「企業内の防災・防犯組織などの活動や地域の祭り・集会等を通して区政に参加する」(41.6%)、「インターネットなどを通じて日々気づいたことなどの意見を述べる」(37.0%)が多く挙げられ、次いで「NPO・ボランティアなどの活動を通して区政に参加する」(22.3%)の順となっている。「区政モニターや検討委員会の委員として、区政に参加する」、「区長とのタウンミーティングやパブリックコメントなどに応募する」は、それぞれ1割となっている。

問5. 区政への参加方法

【全体】



クロス集計結果から

- ・ どの年齢層においても「インターネットなどを通じて」と「防災・防犯活動や地域の祭り・集会等を通して」が多くなっているが、40代まではどちらかといえば「インターネットを通して」が、50代以降は「防災・防犯活動や地域の祭りを通して」が中心となる。「NPO・ボランティアなどの活動を通して」は50代までであり60代以降は少なくなる。

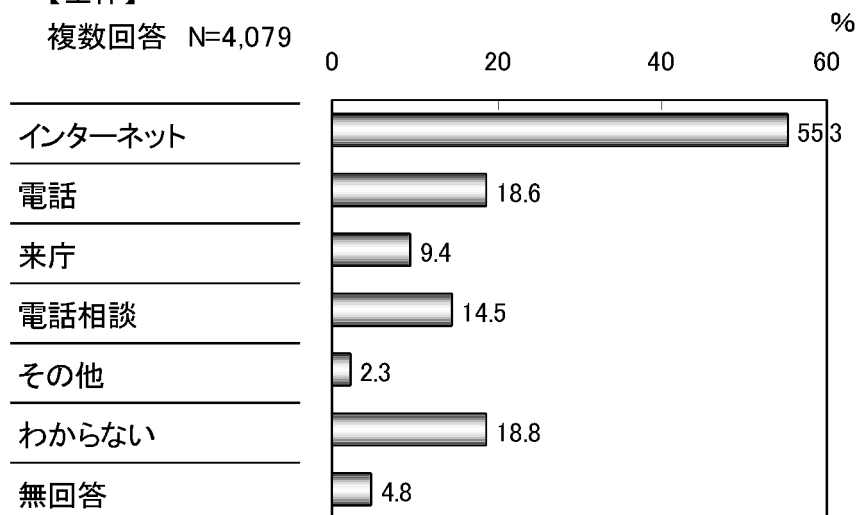
(6) 意見・要望の伝達手段

区政への意見・要望の伝達手段は「インターネット」が飛び抜けて多く、次いで「電話」、「電話相談」、「来庁」の順となっている。

問6. 意見・要望の伝達手段

【全体】

複数回答 N=4,079



クロス集計結果から

- ・ 40代までは「インターネット」が6割を越えているが、50代以降は「電話」、「電話相談」、「来庁」などの手段に分散している。
- ・ 「インターネット」については従業員規模が1~9人では4割に満たないが、100人以上では6割を上回り、従業員規模の大小により差が生じている。

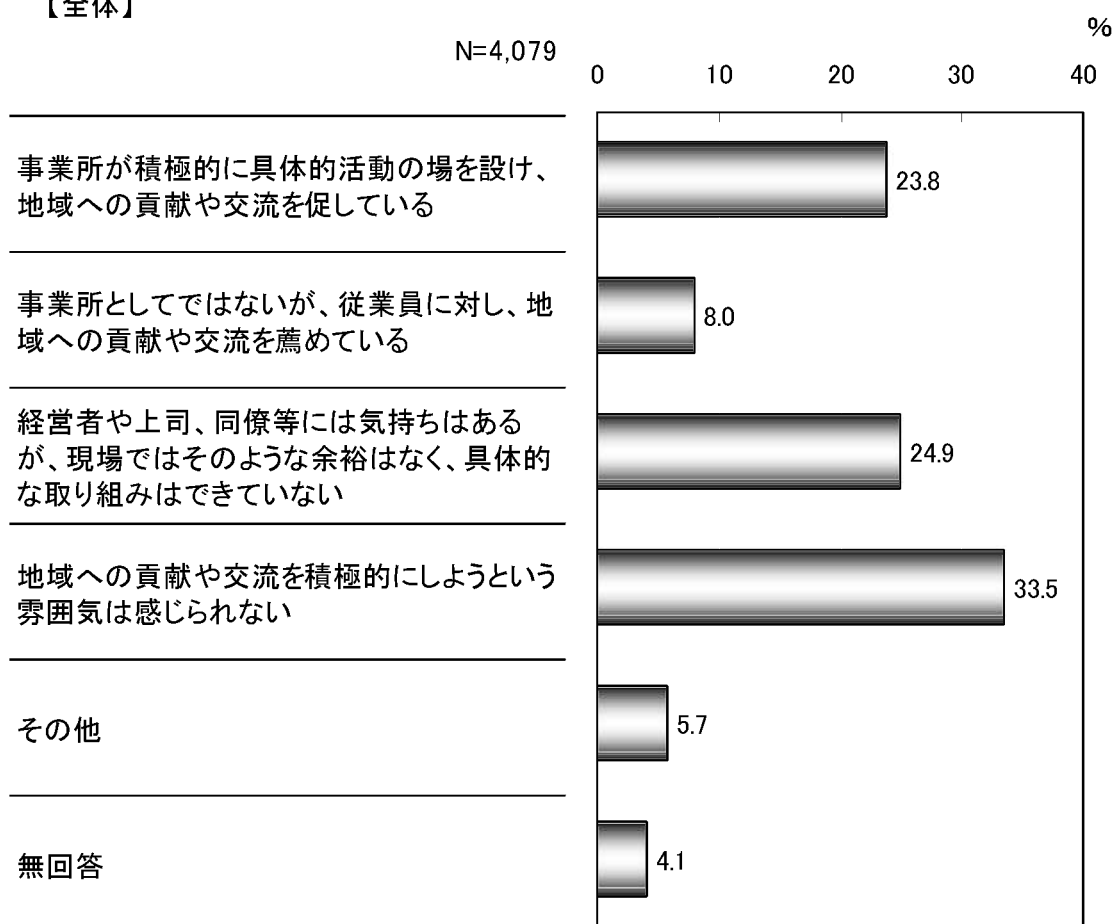
3. 品川区との連携・協力への関心や参加意向について

(1) 職場の地域貢献への取り組み姿勢

職場の地域貢献への取り組み姿勢については、「事業所が積極的な活動の場を設け、地域への貢献や交流を促している」が23.8%、「事業所としてではないが、従業員に対し、地域への貢献や交流を薦めている」が8.0%、「経営者や上司、同僚等に気持ちはあるが、現場ではそのような余裕がなく、具体的な取り組みはできていない」が24.9%である。一方、「地域への貢献や交流を積極的にしようという雰囲気は感じられない」が33.5%である。

問7. 職場の地域貢献への取り組み姿勢

【全体】



クロス集計結果から

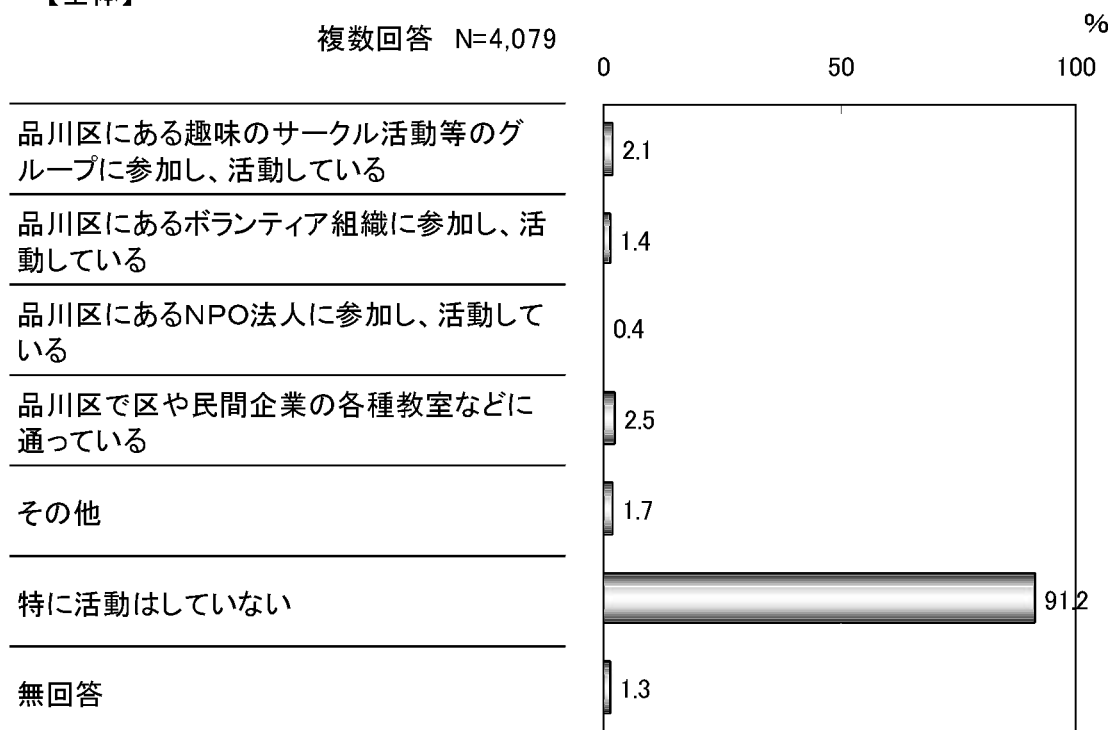
- ・ 「事業所が具体的活動の場を設けている」は従業員規模が大きくなるにつれ増加する傾向があり、300人以上では4割に達する。

(2) 品川区内での地域活動

品川区内での地域活動については「特に活動していない」が9割を上回る。

問8. 品川区内での地域活動

【全体】

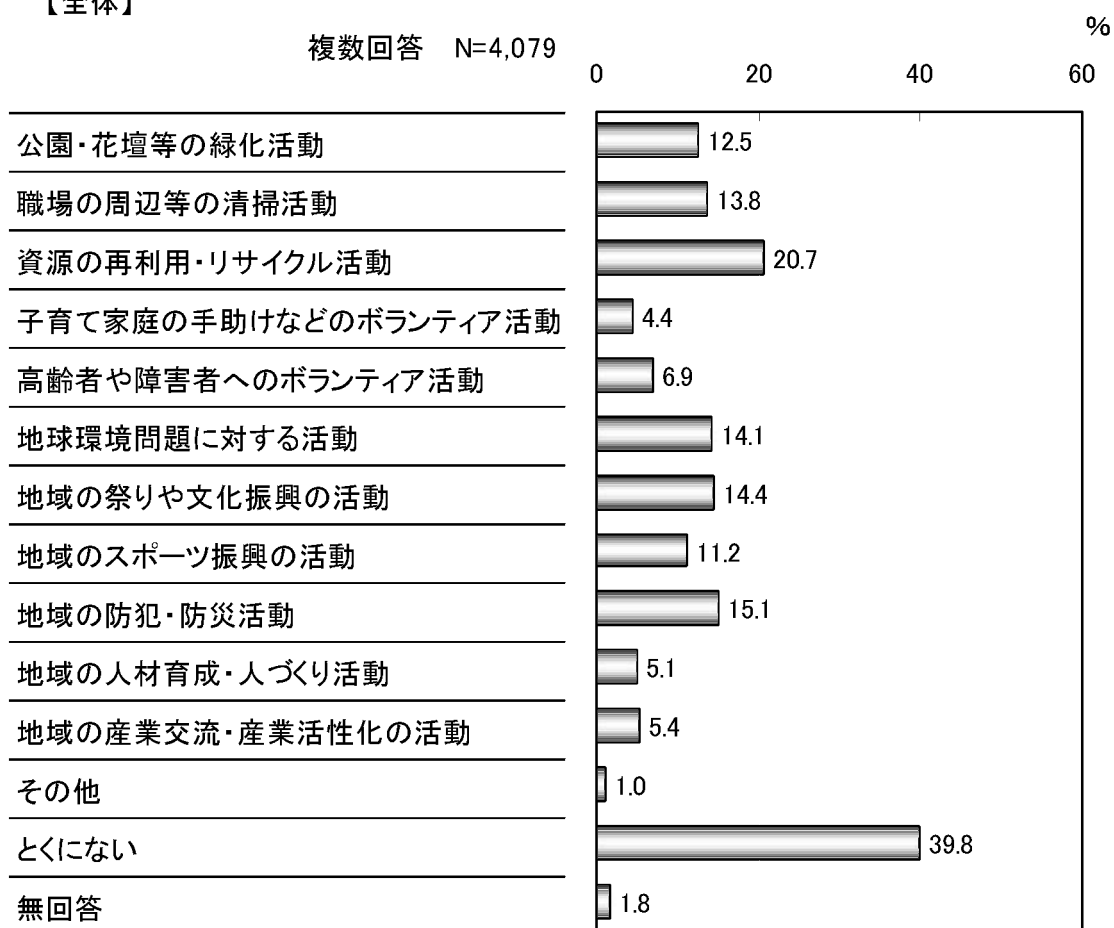


(3) 品川区で取り組みたい活動

品川区で取り組みたい活動は、幅広い分野に分散しているなかで、「資源の再利用・リサイクル」への回答が最も多い。「とくにない」は39.8%である。

問9. 品川区で取り組みたい活動

【全体】

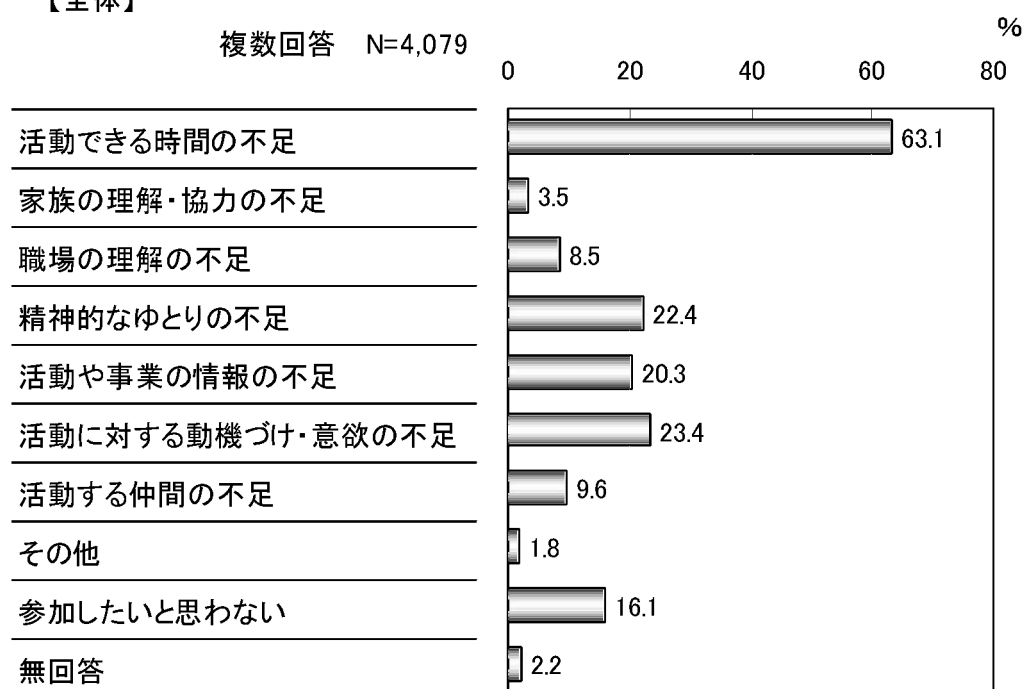


(4) 参加する際の制約

品川区や区民との連携・協力の取り組みに参加する際の制約については、「活動できる時間の不足」に回答が集中している。

問10. 参加する際の制約

【全体】



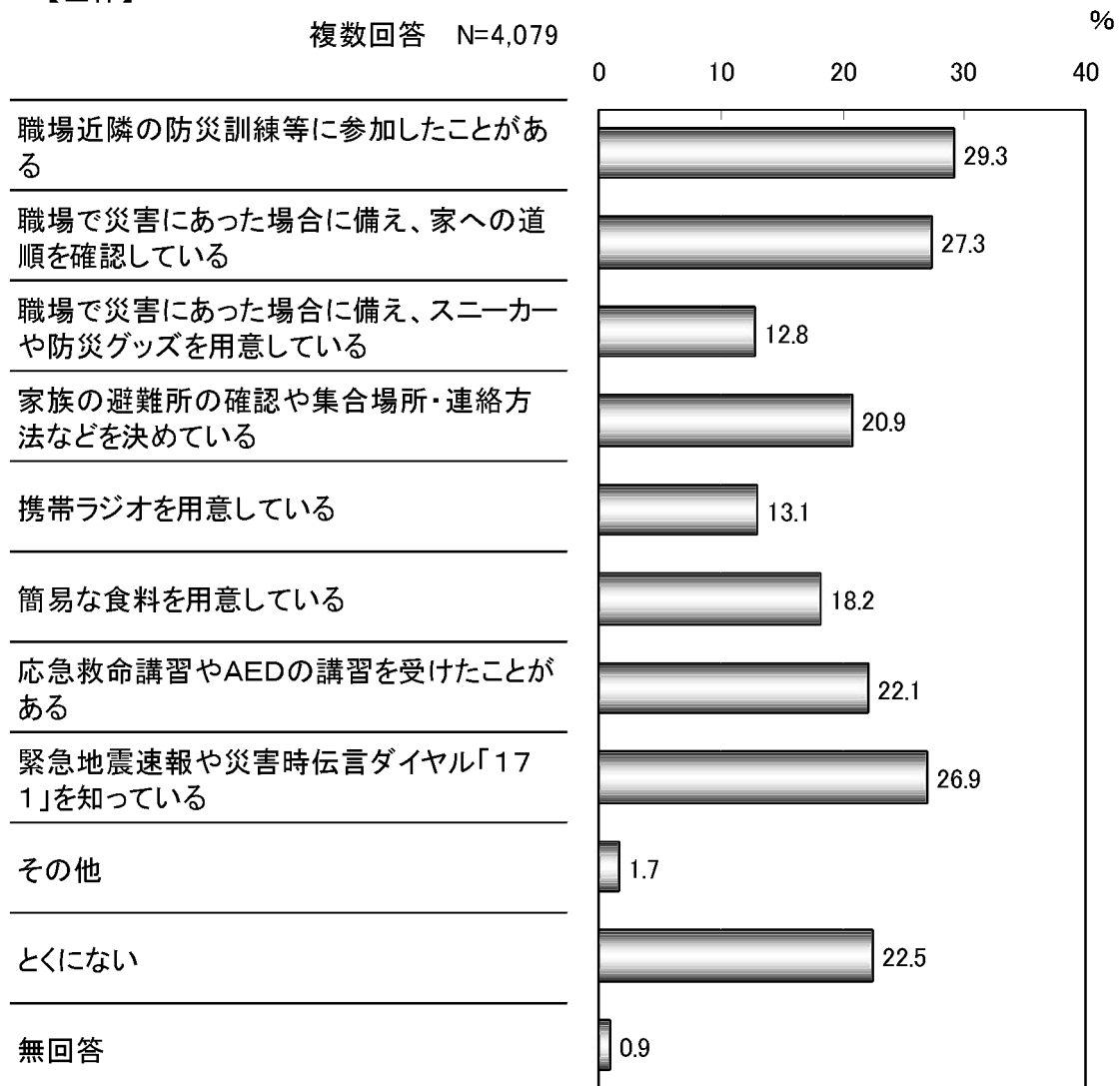
4. 防災への取り組みについて

(1) 日ごろ心がけている防災活動

日ごろ心がけている防災活動としては「職場近隣の防災訓練等に参加したことがある」、「職場で災害にあった場合に備え、家への道順を確認している」、「緊急地震速報や災害時伝言ダイヤル「171」を知っている」などが上位を占め、次いで「応急救命講習やAEDの講習を受けたことがある」、「家族の避難場所の確認や集合場所・連絡方法などを決めている」、「簡易な食料を用意している」の順となっている。

問11. 日ごろ心がけている防災活動

【全体】



クロス集計結果から

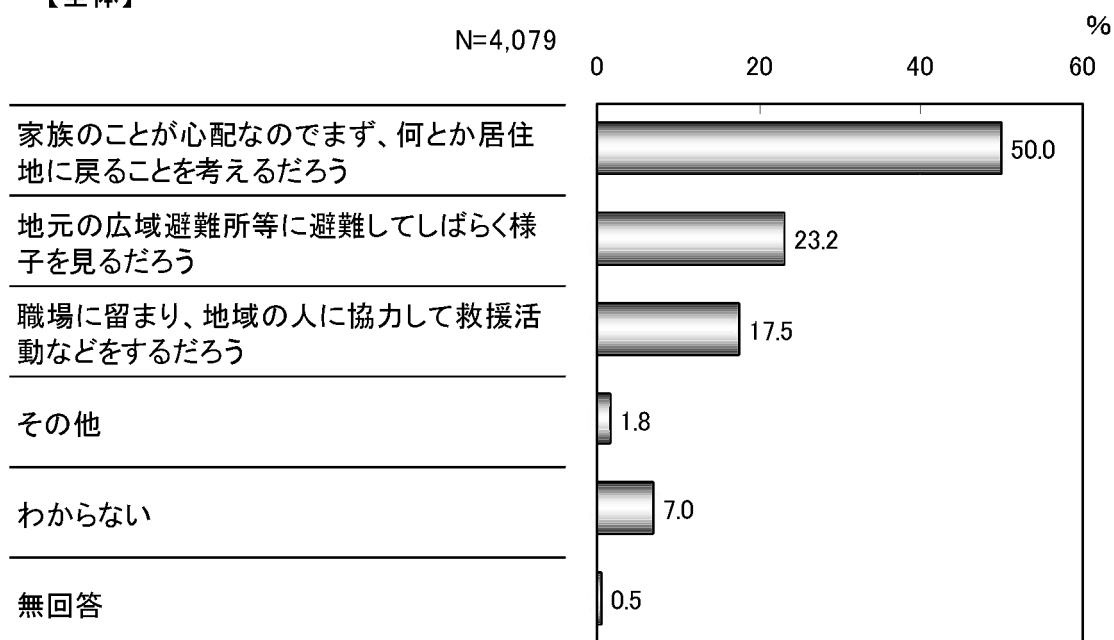
- ・ 「職場近隣の防災訓練等に参加したことがある」への回答は、勤務先従業員規模が大きくなるほど多くなる傾向がみられる。

(2) 広域災害時の対応

広域災害時の対応として「家族のことが心配なのでまず、何とか居住地に戻ることを考えるだろう」が50.0%と最も多く、「地元の広域避難所等に避難してしばらく様子を見るだろう」が23.2%、「職場に留まり、地域の人に協力して救援活動などをするだろう」が17.5%である。

問12. 広域災害時の対応

【全体】



クロス集計結果から

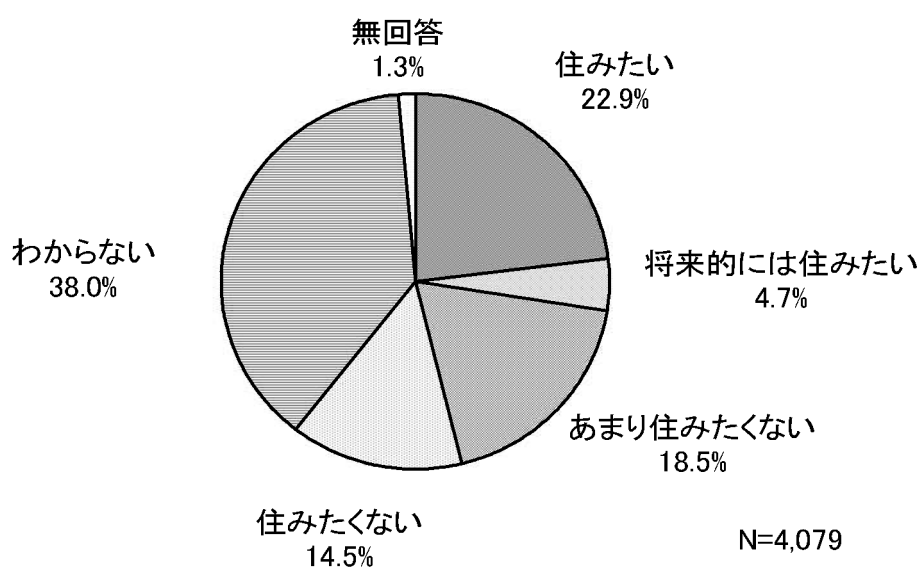
- ・ 「家族のことが心配なのでまず、何とか居住地に戻ることを考えるだろう」への回答は、30代、40代が他の年齢層に比べ多い。

5. 居住場所としての品川区の印象について

(1) 品川区での居留意向

品川区での居留意向は、「住みたい」が22.9%、「将来的には住みたい」が4.7%であり、品川区居住に肯定的な人は合計27.6%である。一方「あまり住みたくない」が18.5%、「住みたくない」が14.5%であり、否定的な人は33.0%である。なお「わからない」が38.0%であり、品川区居住に無関心な人も多い。

問13. 品川区での居留意向



クロス集計結果から

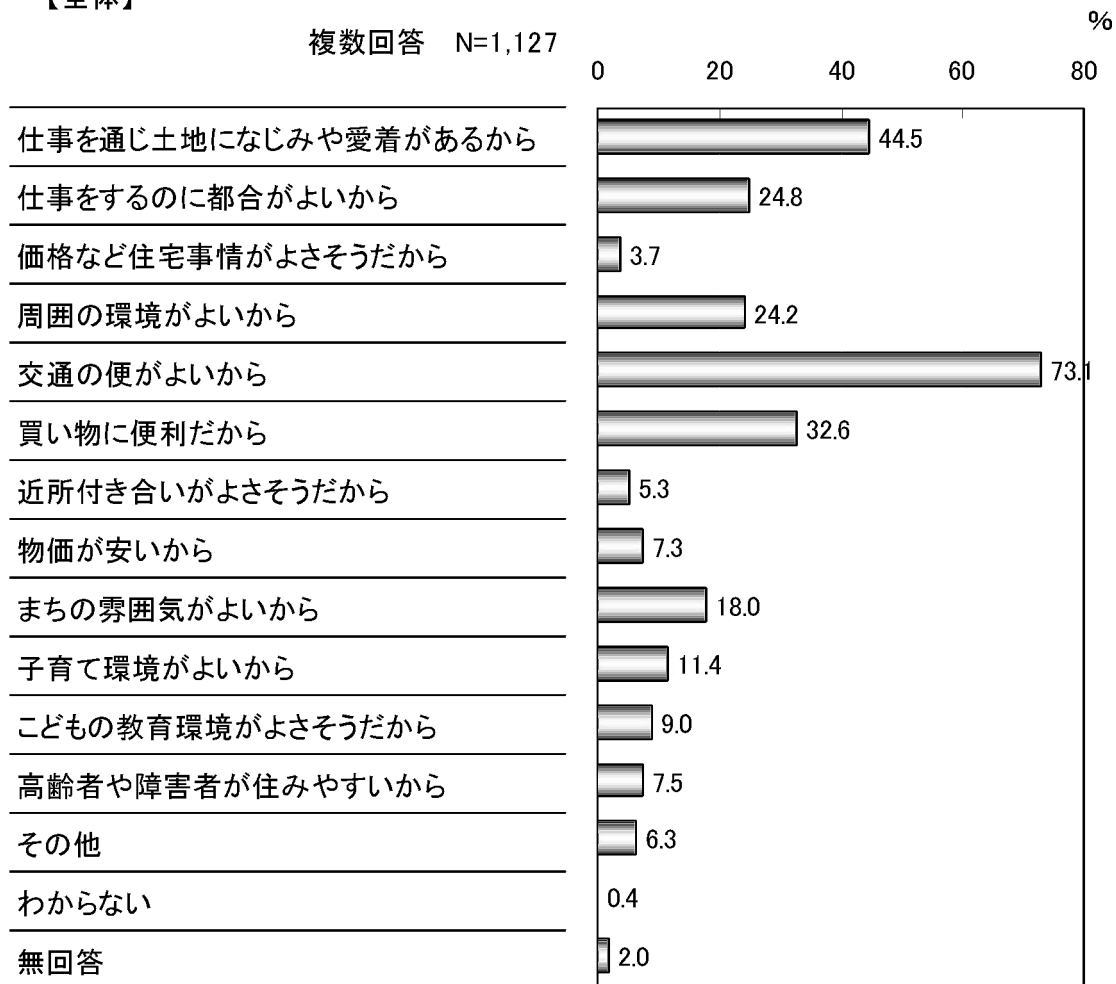
- ・ 品川区以外の居住者の場合、「住みたい」が13.8%、「将来的に住みたくない」が5.3%であり肯定的な回答が合計19.1%である。一方「あまり住みたくない」が21.2%、「住みたくない」が17.0%であり否定的な回答が合計38.2%となっている。
- ・ 60歳以上の人に肯定的な回答が多い。
- ・ 荏原地区の場合、肯定的な回答が他地区に比べ多い。
- ・ 勤務先従業員規模が1～9人の場合、肯定的な回答が他に比べ多い。

(2) 品川区に住みたい理由

品川区に住みたい理由として「交通の便が良い」が73.1%と最も多く、次いで「仕事を通じ土地になじみや愛着があるから」(44.5%)、「買物に便利だから」(32.6%)、「仕事をするのに都合が良いから」(24.8%)、「周囲の環境が良いから」(24.2%)の順となっている。

問14. 品川区に住みたい理由

【全体】



クロス集計結果から

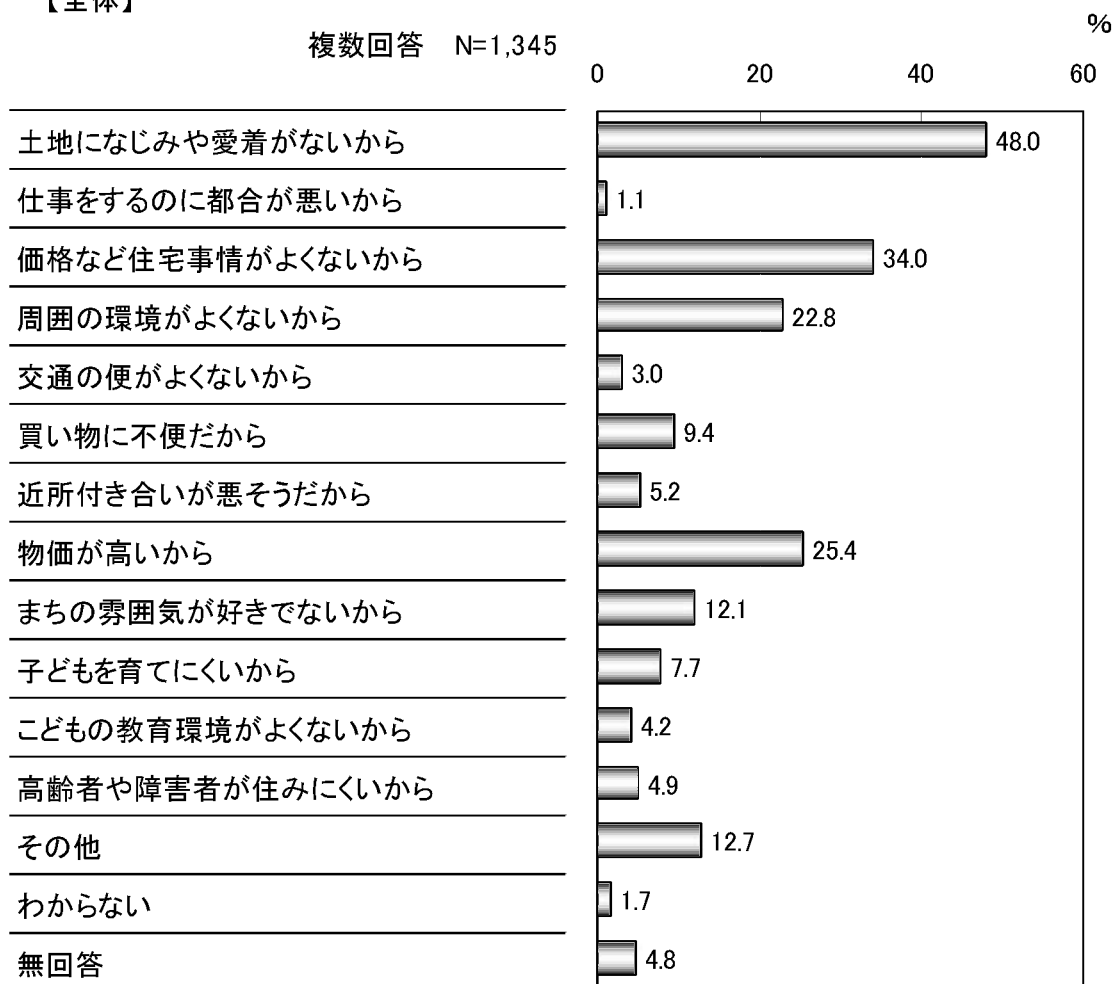
- ・ 「土地になじみや愛着がある」、「物価が安い」、「高齢者や障害者が住みやすい」への回答は50代や60歳以上に多く、「町の雰囲気がよい」、「子育て環境がよい」、「こどもの教育環境によい」への回答は30代、40代が多く、それぞれの年齢層の特徴を表している。
- ・ 荏原地区の場合、「土地になじみや愛着がある」、「買物が便利」、「物価が安い」、「子育て環境がよい」、「高齢者や障害者が住みやすい」への回答が他地区に比べ多い。

(3) 品川区に住みたくない理由

品川区に住みたくない理由として「土地になじみや愛着がないから」が48.0%と最も多く、次いで「価格など住宅事情がよくないから」(34.0%)、「物価が高いから」(25.4%)、「周囲の環境がよくないから」(22.8%)の順となっている。

問15. 品川区に住みたくない理由

【全体】



【住民世論調査との比較】

ほぼ同じ項目で調査した住民世論調査結果と比較すると、「土地になじみや愛着がない」、「価格など住宅事情がよくない」、「周囲の環境がよくない」、「物価が高い」など上位に挙げられた項目は同じであるが、住民の場合一番目が「周囲の環境がよくない」であるのに対し、事業所従業員の場合一番目は「土地になじみや愛着がない」である。